

第2節 大洗町の概要

(1) 大洗町の位置・地勢・気候

大洗町は、北緯 36°18′ 東経 140°34′ に位置し、東西 2.5km 南北 9.0km で、面積は 23.89 km²となっています。

東は太平洋に面し、北は那珂川を境にひたちなか市と、北西は涸沼川を境に水戸市と、南西は涸沼をはさみ茨城町と、南は鉾田市とそれぞれ接しています。

美しい海岸線はおおらかな湾形をなし、市街地は概ねこれに沿う低地部に形成され、後方に標高 25m～35m の丘陵を背負っています。涸沼川に近い低地部には水稲が栽培され、丘陵部は畑や山林となっています。丘陵は関東ローム層の洪積台地である鹿島台地の北部に位置しています。

気候は海洋性の太平洋側気候であり、四季を通して過ごしやすい気候となっています。

(2) 大洗町の地理的条件及び交通

大洗町から主な都市までの距離は、県都水戸市まで約 11km、首都東京までは約 100 kmの距離にあります。

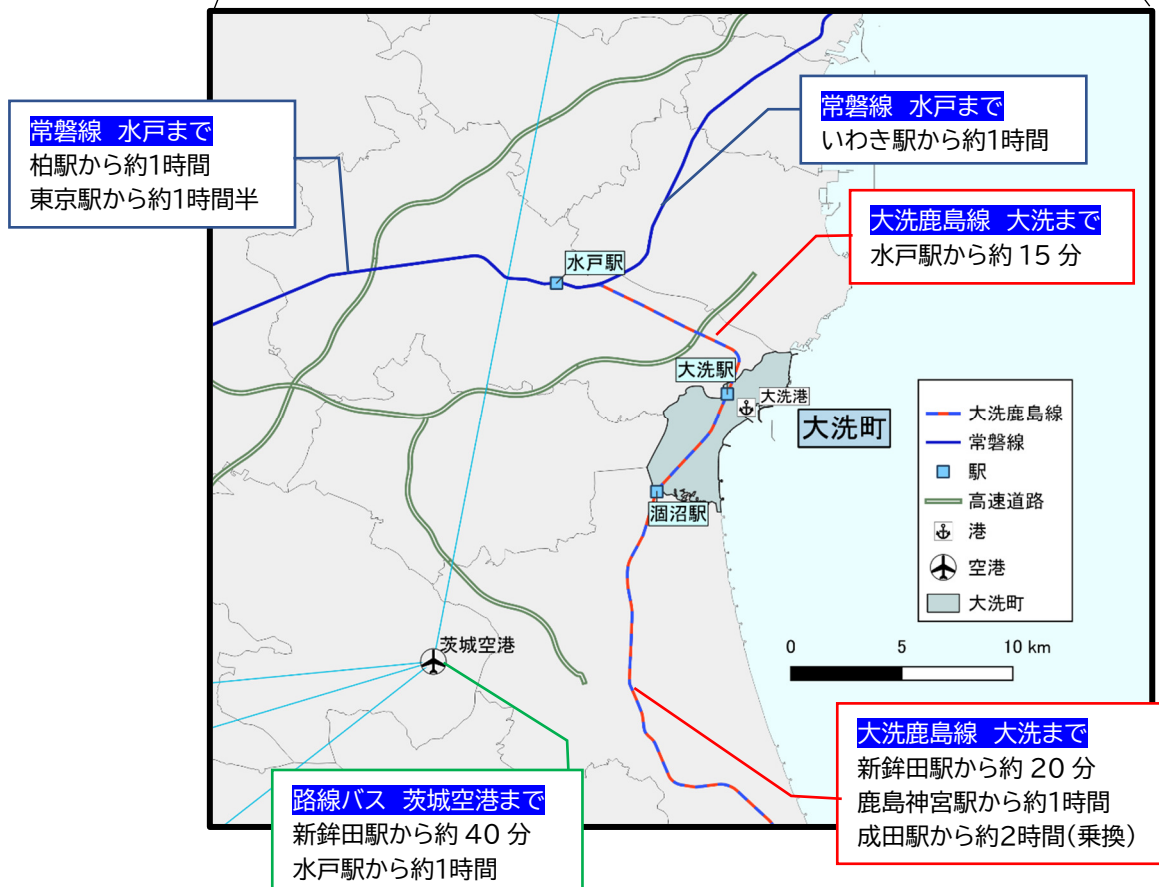
鉄道は、水戸市と鹿嶋市を結ぶ鹿島臨海鉄道大洗鹿島線の大洗駅があり通勤・通学等日常の足として利用されています。

道路は、北関東自動車道・東水戸道路水戸大洗インターチェンジから国道 51 号経由で中心部を結ぶほか、隣接するひたちなか市、水戸市を結ぶ県道が走っています。

バス路線は、路線バスが運行されているほか、町内の主要箇所を循環するコミュニティバスを2路線運行しています。

また、重要港湾茨城港大洗港区を有しており、北海道苫小牧港まで週 12 便でカーフェリーが就航しています。

図表2 大洗町の位置



第3節 大洗町を取り巻く状況

(1) 人口減少問題や超高齢化社会への対応

I. 国勢調査人口の推移と高齢化率

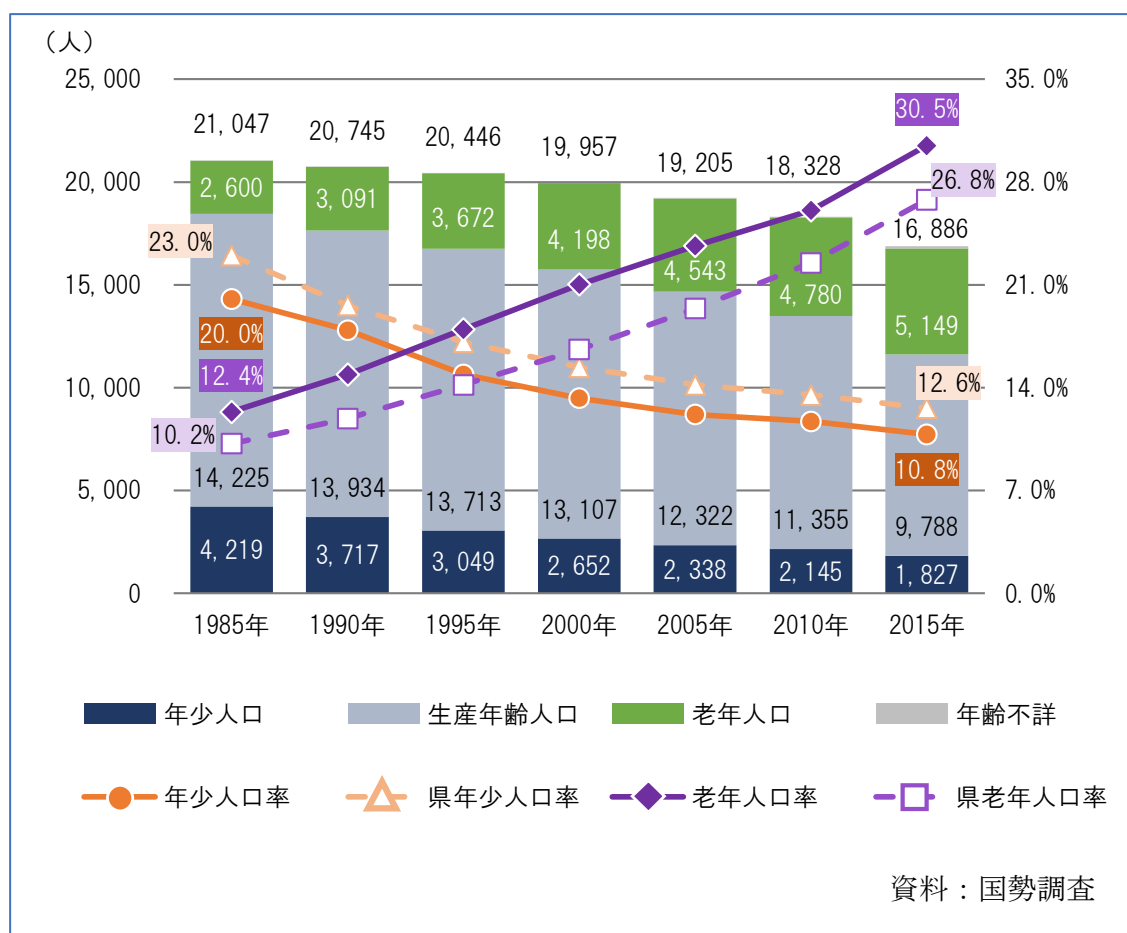
国勢調査による人口の推移をみると、1947年(昭和22年)に24,785人(合併前町村の計)まで増加しましたが、その後は一貫して減少傾向を示し、1970年(昭和45年)から1975年(昭和50年)までは一時的に維持しつつも、1980年(昭和55年)調査からは再び減少傾向に入り現在に至っています。

また、直近の2015年(平成27年)時点と、1985年(昭和60年)とを比較すると、4,161人もの減少となり、30年間で約2割の減となっています。

内訳をみると、年少人口(0～14歳)については30年で約6割の減となっている一方、老年人口(65歳以上)は2倍近くに増加しています。

また、茨城県と比較した場合、直近の2015年(平成27年)時点で、年少人口率は1.8ポイント低く老年人口率は3.7ポイント高い状態にあることから、県平均と比べても少子高齢化が進展していることがわかります。

図表3 過去30年における国勢調査人口の推移



大洗町内の公共交通	1日あたり運行本数
◆鉄道【鹿島臨海鉄道(株)】	
・ 水戸駅～大洗駅～鹿島神宮駅	水戸⇄鹿島神宮間:上下各17本 水戸⇄大洗間 :上下各36本 大洗⇄新銚田間 :上下各 3本 大洗⇄鹿島神宮間:上下各18本
◆路線バス【茨城交通(株)】	
・ 茨大前営業所～栄町・水戸駅・本町・大洗経由～那珂湊駅	(茨大前営業所・水戸駅→那珂湊駅) 平日17本, 土日祝日13本 ※アクアワールド大洗止まり含む ※水戸駅始発含む
	(那珂湊駅→水戸駅・茨大前営業所) 平日17本, 土曜13本, 日祝13本 ※水戸駅止まり含む ※アクアワールド大洗・大洗フェリーターミナル始発含む
・ 那珂湊駅～大洗駅経由～大洗高校前	(那珂湊駅→大洗高校前) 平日2本運行 ※休校日運休
	(大洗高校前→那珂湊駅) 平日3本, 土曜1本, 日祝2本 ※日祝の1本を除き、休校日運休
◆コミュニティバス【茨城交通(株)(町が運行を補助)】	
・ 大洗町循環バス「海遊号」	
アクアワールド・大洗ルート(右回り)	毎日運行:9本
アクアワールド・大洗ルート(左回り, 通学便)	平日のみ運行※:3本
大洗サンビーチルート	毎日運行:6本
大洗南ルート	毎日運行:2本, 平日のみ運行※:2本
・ 大洗町じんぐりバス「なっちゃん号」	
午前ルート(神山→松川→夏海)	平日のみ運行※:2本
午後ルート(夏海→松川→神山)	平日のみ運行※:2本
※土日祝日, お盆, 年末年始は運休	
◆タクシー【NK観光タクシー(有), (株)グリーン交通なか常陽】	
◆フェリー【商船三井フェリー(株)】	
・ 大洗～北海道苫小牧	毎日(日曜日除く)運航 夕方便:1便, 深夜便:1便

その他

◆レンタサイクル【大洗観光おもてなし推進協議会 他】

- ・ うみまちテラスにて貸出, 隣接市のひたちなか市那珂湊駅のレンタサイクルと相互乗り入れが可能(¥1,000/日)。その他, 大洗まいわい市場等の4事業者が町内でレンタサイクルを実施。

1 調査の概要

1. はじめに

1 調査の概要

(1) 調査の目的

本調査は、令和3年度からのまちづくりの方向性を示す新たな総合計画である「第6次大洗町総合計画」の策定にあたって、広く町民の皆様のご意見、ご意向をお伺いし、計画に反映することを目的に実施しました。

(2) 実施概要

調査地域： 大洗町全域
調査対象者： 18歳以上の町民 3,000人
令和2年1月1日時点の住民基本台帳より無作為抽出
調査期間： 令和2年3月10日～令和2年3月27日
調査方法： 郵送配布・郵送回収

(3) 回収結果

調査種類	配布件数	回収件数	回収率
町民意向調査	3,000件	1,106件	36.9%

問2 あなたは、これからも大洗町に住み続けたいと思いますか。

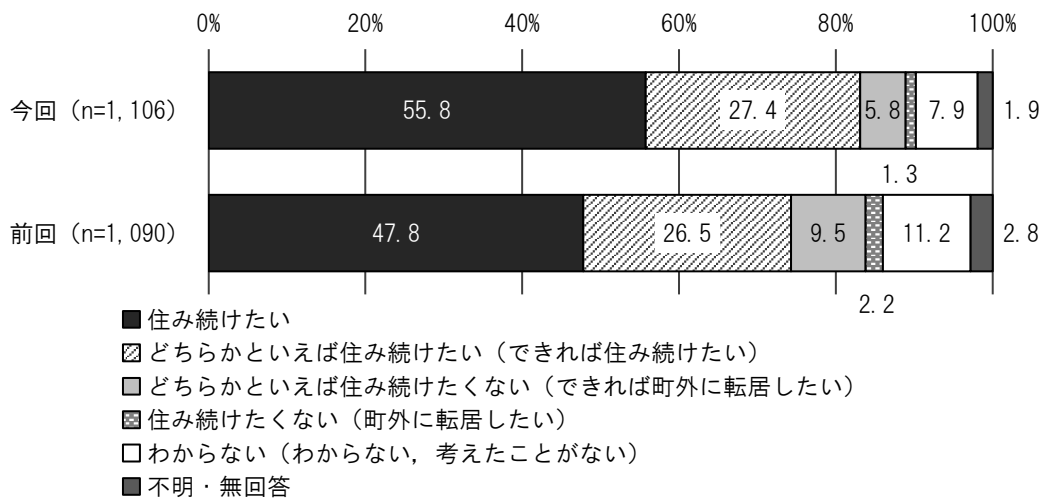
問2 あなたは、これからも大洗町に住み続けたいと思いますか。

(単数回答)

これからも住み続けたいと思うかについてみると、「住み続けたい」が 55.8%と最も高く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」が 27.4%、「わからない」が 7.9%となっています。

前回調査については選択肢の表現が異なり直接の比較はできませんが、「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい(できれば住み続けたい)」の合計について、74.3%から 83.2%へと 8.9 ポイントの増加がみられます。

なお、前回調査の選択肢はグラフの凡例における () 内の表現となっています。



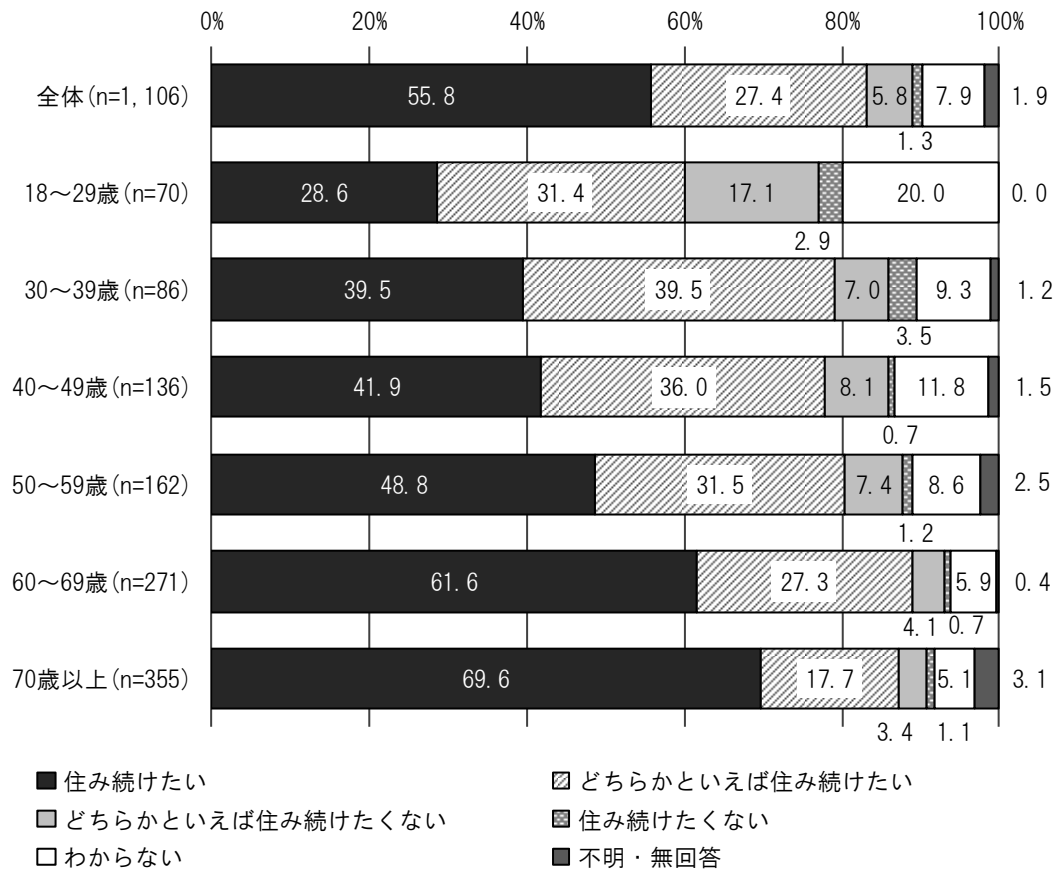
問2 あなたは、これからも大洗町に住み続けたいと思いますか。

問2 あなたは、これからも大洗町に住み続けたいと思いますか。
× 年代

(単数回答)

年代別にみると、年代が上がるほど「住み続けたい」の割合が高くなる傾向にあり、
<70歳以上>では69.6%となっています。

一方で、18～29歳では「住み続けたくない」と「どちらかといえば住み続けたくない」の合計に
ついて20.0%となっており、また「わからない」についても20.0%と全体と比べ高くなっていま
す。



問2-2 住み続けたくないと思う理由は何ですか。

問2-2 住み続けたくないと思う理由は何ですか。

(問2で「どちらかといえば住み続けたくない」「住み続けたくない」の方)
(複数回答)

住み続けたくないと思う理由についてみると、「働く場所がない」が34.6%と最も高く、次いで「買い物などの日常生活が不便である」が32.1%、「保健・医療環境が不十分である」「地域での人間関係がよくない」が23.1%となっています。

